

令和7年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	浦和総合運動場・三浦運動公園・浦和北公園					
(2)施設概要	①所在地 浦和総合運動場 さいたま市浦和区元町1丁目、本太4丁目地内 三浦運動公園 さいたま市緑区大字三浦地内 浦和北公園 さいたま市浦和区常盤9丁目地内 ②施設の設置目的 浦和総合運動場 都市住民全般の主として運動の用に供することを目的とする。 三浦運動公園 主として近隣に居住する者の利用に供することを目的とする。 浦和北公園 高齢者の福祉の増進を図ることを目的とする。 ③施設の概要 浦和総合運動場 面積 4.32ha 主な施設 野球場、一般競技場、テニスコート、トレーニング場他 三浦運動公園 面積 1.20ha 主な施設 一般競技場他 浦和北公園 面積 1.12ha 主な施設 談話室、テニスコート他					
(3)指定管理者	URAWAスポーツパークJV					
(4)指定期間、指定管理料	①指定期間 令和6年4月1日～令和11年3月31日 ②指定管理料(直近3か年) 令和6年度88,806千円、令和7年度95,689千円					
(5)施設の管理運営の内容	①運営業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 ・利用者数 129,293人(前年度133,785人) ・稼働率85.7%(前年度86.8%) ◇業務実施状況 施設維持管理業務、利用者受付業務、公共施設予約システムによる貸出業務、業務仕様書及び事業計画書による業務 ②維持管理業務の状況 保守管理業務 野球場、一般競技場、テニスコート、夜間照明設備等 日常清掃業務 サッカー場(三浦)、管理棟、テニスコートハウス等 定期清掃業務 管理棟、受水槽、園内等 植栽管理業務 高木剪定、低木剪定 ③その他の業務 【市民協働事業】 ・3月11日に「防災イベント」を開催。浦和消防署および消防団本太分団の協力のもと、市民体験型の防災訓練を実施。(浦和総合運動場) ・イベント「エコウォーク」を開催。市民とウォーキングを通じた地域のゴミ拾い活動を実施。(浦和北公園) 【自主事業】 〔浦和総合運動場〕 ライオンズベースボールアカデミー、小学生初心者テニス教室、朝野球、女子野球イベント、ベースボールスクール、指導者講習会、防災イベント、期間貸しロッカー 〔三浦運動公園〕 小学生女子サッカー教室、グラウンドゴルフ大会 〔浦和北公園〕 手作り雑貨教室、エコウォーク、リバーシ大会、パークマルシェ 〔利用者の便益を図るため〕 清涼飲料水等の自動販売機の設置					
(6)収支状況	収入(費目)	収入(金額)	前年度	支出(費目)	支出(金額)	前年度
	利用料金収入	8,475千円	(8,507千円)	人件費	37,882千円	(37,755千円)
	指定管理料	95,689千円	(88,806千円)	事務費	14,781千円	(9,510千円)
				施設管理費	51,504千円	(50,048千円)
	【自主事業】					
	収入	3,131千円	(2,955千円)	支出	868千円	(278千円)
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	○三浦運動公園では受付の対応、施設の利用のしやすさについては、おおむね良好の評価をいただいています。トイレの改善をしてほしいというご意見が多数ありました。トイレの改修については関係各所と協議を行い、さらに使用しやすい施設づくりに努めます。 ○浦和北公園では受付の対応、施設の管理について、「大変良い」「良い」を合わせると90%以上の高い評価をいただきました。利用者の年代については、60歳以上が95%を占めており、「高齢者いこいの広場」という名の通り、高齢者にとって利用しやすい公園施設だと感じてもらえていると思います。引き続き、利用者が安全安心で利用できるよう施設管理に努めました。					
(8)その他	○浦和総合運動場に隣接するマンションの管理人から、野球場の外周路にあるツバキの花や枯葉が落ちてきて敷地内に落ちて困っているとのこと意見をいただいたが、翌日までにはツバキの花がマンション敷地内に落ちない程度にツバキの木の剪定を行い、維持管理職員が毎日巡回し、マンション敷地内に落ちたり飛んだ花柄や枯葉を清掃することをお伝えしたところ、迅速にご対応いただけて感謝しているとお声をいただいた。					

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
「サービス向上に向けた取り組み」・市民共同事業について	○利用者のニーズに対応し、利用料金の支払い手段にキャッシュレスを導入しており、スムーズな料金支払いができるよう利便性を高め、利用者のサービスの向上に努めた。 ○スケジュール会議において、各競技団体との調整を図り、市民が平等に利用できるように努めた。 ○ホームページやメールマガジン等を活用し、利用者へいち早く新しい施設情報や利用状況が届き、見れるよう情報発信に努め、施設の有効活用に努めた。 ○窓口においては、障がい者、外国人の方へ向けたコミュニケーション対策として、筆談具のコミュニケーションボードを設置し、誰もが利用しやすい親切・丁寧な施設提供の促進に努めた。 ○アンケート調査を実施し、利用者のニーズを把握して日々の施設運営に役立てている。 ○市民協働での清掃イベントや防災訓練を通して、地域の方々との直接コミュニケーションを図ったほか、市内中学生の職場体験「未来くるワーク」の受け入れを実施し、勤労観・職業観を育み、学ぶことの意義を考える機会を提供した。 ○浦和総合運動場では、テニスの利用者に対して、貸しロッカーの提供を継続的にを行い利用者の利便性を図った。 ○大会時には協力企業が運営する施設の駒場運動公園と駐車場相互利用を行い、駐車場利用をスムーズに行う取り組みに努めた。 【市民協働事業】 ○浦和区民まつりの実施会場として浦和北公園を貸出。同時開催として自主事業「リバーシ大会」を同会場にて実施し、老若男女多くの方に足を運んでいただき、地域の方々との交流を図った。 ○地域の子供たちを対象としたプロの野球・サッカー選手を招いてのスポーツ教室、高齢者を対象としたグラウンドゴルフ大会、健康増進と環境問題への意識啓発を目的としたエコウォークなどのイベントを開催し、地域との交流を深めた。またJAさいたま協力の元、浦和北公園にて野菜・青果の直売イベント「パークマルシェ」をほぼ毎月実施をし、公園の賑わい創出に繋げた。
「指定管理業務に係る経費」・経費縮減のための取り組みについて	○経費執行の適正を図るため、業務内容の見直しを継続的にを行い、修繕を計画的に実施し、将来にわたっての修繕経費の縮減に努めた。また、軽微な修繕等については、職員が修繕を実施し、経費の縮減に努めた。 ○大規模な大会をはじめ各種大会で使用する浦和総合運動場の野球場は、「プロ仕様」の高水準なグラウンドを維持するために、専門知識のある職員を配置し、経費の縮減に努めた。 ○SDGsの取り組みの一環として、節電や自社修繕・廃材のリサイクル、消耗品その他資機材購入の際は、徹底した価格の調査を行った上で購入し、積極的な経費の削減に努めた。 ○毎日の水道メーター等の施設点検を行い、漏水等異常箇所を早期発見することで経費削減につながるよう努めている。
「管理運営体制」・危機管理対策について	○危機管理規定、情報セキュリティ規定及び危機管理マニュアルに基づき、管理体制の検証を定期的に実施した。また、台風接近時等には、危機管理本部を開催し、状況に則した準備対応を行っている。 ○合併記念見沼公園で開催された樹木点検の研修に参加し、日々の樹木管理業務に役立て、安全管理に努めた。 ○カスタマーハラスメントに対する基本方針を定め、研修にも参加をし、職員の心身を守るとともに他の利用者や管理者の信用を失わないための対策をとった。 ○トイレ配管盗難対策として配管へ目印を行った。 ○利用があるなしに関わらず、毎日同じルートで巡回点検を行い、施設や利用者にも異常がないか確認を行った。 ○随時、代表団体と情報共有を行い、施設管理・運営の統一した方向性を定め、サービス水準が向上するよう努めた。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

【①市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進】 ○利用料金の支払い等、キャッシュレス決済を継続しており、テニス利用者向けに有料貸しロッカーも設置継続を行い、利便性を高めた。 ○AEDの設置場所や消火器の場所がわかりやすいように、スタンド内に表示を増設した。 ○ケガや体調不良時の救急搬送時は、職員が迅速な対応を行うとともに、当該者の方の荷物や自転車等、一時的に施設にてお預かりするなど、柔軟な対応を行った。 ○利用者からご意見やクレームなどがあった場合は、利用者の気持ちに立ち、迅速に対応して、可能な限り持ち越さないよう努めた。 ○JV運営委員会を定期的に開催し適正な予算執行及び決算の情報共有を図った。更には所管課とも常に情報の共有を図りながら対応した。 ○アンケート調査を実施し、ニーズを把握し施設の管理・運営に役立てた。 ○野球場、一般球場はグラウンド整備に精通する維持管理職員が豊富な経験を活かして、常に状態のよいグラウンド状態を維持し、降雨・降雪後は可能な限りのコンディション復旧に向け、迅速に作業を進め、利用者の期待に応えられるよう努めた。 ○市内中学生の職場体験「未来くるワーク」や特別支援学校の職業体験実習を可能な限り受け入れ、地域の学校と連携し青少年の健全育成に寄与した。また、地域の消防団の方と協力し「防災イベント(自主事業)」を開催(予定)し、地域の方々とのコミュニケーションを深め、地域連携に取り組んだ。 ○浦和総合運動場では予定されていた野球やテニス等各種大会の不要となった枠は、速やかに開放することで、より多くの方に施設をご利用いただける機会を増やした。 ○地域の子供たちを対象としたプロ選手を招いたスポーツ教室、高齢者を対象としたグラウンドゴルフ大会、健康増進と環境問題への意識の啓発を目的としたエコウォーク等、多タイイベントを開催し、参加者の心身を豊かにすることを目的に各自主事業を実施した。 ○昨年に続き、JAさいたま協力の元、浦和北公園にて地元農家栽培の野菜の直売「パークマルシェ」を実施し、にぎわいを創出するとともに、地域交流を図った。 ○近隣の駒場運動公園と連携し、大会開催時などは駐車場の相互利用を行い、利用者の利便性向上に努めた。
【②経費の削減】 ○利用状況に影響が出ない範囲で、部屋の蛍光灯の間引きを行い節電に努めた。 ○SDGsの取り組みの一環として節電や自社修繕・廃材のリサイクルを行い、消耗品その他資機材購入の際は、徹底した価格調査を行い、積極的な経費の削減に努めた。 ○剪定した小枝や除草した芝はビニル袋に入れず、コンテナ等に入れてゴミの回収日まで保管し、ビニル袋のゴミが出ないよう、環境にも配慮し経費の削減にも努めた。 ○職員が対応可能なものや実施できるものは、業者へ外部発注せず、積極的に軽修繕などを行い、経費削減を行った。 ○毎日水道メーター等の機器の施設巡回点検を行い、漏水等異常箇所を早期に発見することで経費削減につながるよう努めた。

【③適正な管理運営の確保に関する取組み】

○委託業者とは事前に綿密に打合せを行い、その上で適切に行い、市民、利用者の安全・安心に繋がる管理・運営を図った。
○適宜、ご利用される野球やテニスの代表団体の方と情報共有を行い、施設の管理・運営の統一した方向性を定め、サービス水準が向上するよう努めた。
○市と協議を進めた上で、適切に予防修繕につとめ、利用者の安心・安全につなげた。
○職員は利用者の立場にたった考え方を意識し、アンケートやご意見から利用者のニーズをひろい、それを活かした管理・運営を行った。
○危機管理として、地域住民や地域の消防団と協力し、地元を巻き込んだ防災訓練・防災イベントを実施している。AED講習・消火訓練・起震車体験などを実施し、職員、利用者、地元住民の防災意識の向上を図った。
○近隣の方々の要望に応え、毎朝、維持管理職員が施設内および施設周辺を巡回し、施設外の近隣道路もゴミ拾いや落ち葉拾い清掃に努めた。
○事件・事故を未然に防ぐため、職員一人一人に危険予知を意識付けを行い、ヒヤリハット事例を多く上げてもらい、事故予防に努めた。
○利用者や近隣の方々よりあったご意見、クレームについては、可能な限り迅速に対応を行った。
○野球場、一般球場においては、グラウンド・キーパーが、常にマウンドインスペクションに意識をおいた整備を心がけ、利用者から高い評価をいただいた。
○職員間で朝礼およびタレを毎日行い、責任者からの発信や部署を越えた情報の交換や共有を行い、全職員が共通の認識で各業務にあたった。
○消防訓練等の法定訓練を漏れなく実施。火災や地震発生時に迅速に対応し、利用者の安全を確保できる体制の強化に努めた。
○公園の遊具をはじめ、施設の設備・備品等について、維持管理上、深刻な設備不良に発展することがないよう、保守点検をはじめ、日々の職員による巡回点検を適正に実施し、不具合については早期の発見・対応を行い、利用者の安全確保に努めた。
○施設内の枯枝除去や倒木の恐れがある樹木の伐採については、所管課に確認の上、職員や造園業者により速やかに作業を実施し、利用者が安全に施設を利用できる環境の確保に努めた。

(2)さいたま市の評価(評価担当課:都市局みどり公園推進部南部公園整備課)

総合評価 (A) ※A~D

1 項目別の評価

①市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進については、キャッシュレス決済の継続やロッカーの設置、駐車場の相互利用などにより利便性向上が図られており、利用者の多様なニーズに対応した取組が行われている。また、安全面においてもAEDや消火器の表示改善や救急時の迅速かつ柔軟な対応が適切に実施されている。さらに、アンケートや利用者の意見を踏まえた管理運営、空き枠の開放による利用機会の拡大、各種スポーツ教室や地域イベントの開催などにより、幅広い年齢層に対する利用促進と地域交流の推進が図られており、市民サービスの向上に資する取組が適切に行われていると評価できる。

②経費の削減については、利用に支障のない範囲での節電対応や資機材購入時の価格調査の徹底、廃材のリサイクルなど、計画的かつ継続的なコスト削減努力が認められる。また、軽微な修繕の内製化や日常点検による異常の早期発見などにより、維持管理経費の抑制に努めている。さらに、廃棄物削減に配慮した取組は環境負荷軽減とコスト削減の両立につながっており、効率的な施設運営が図られていると評価できる。

③適正な管理運営の確保については、委託業者や利用団体、市との連携・情報共有を図りながら、統一した方針のもとで管理運営が行われている。また、予防修繕や日常点検の徹底により施設の安全性確保に努めているほか、防災訓練や危機管理意識の醸成、ヒヤリハットの共有などにより事故防止体制の強化が図られている。さらに、地域と連携した防災活動や周辺環境の清掃など、地域貢献の取組も適切に実施されており、公共施設として求められる安全性・安定性・公共性を踏まえた管理運営が適切に確保されていると評価できる。

2 総合評価

キャッシュレス決済の実施や地域団体・学校との連携による利用促進及びサービス向上の工夫があり、市が求める水準を満たしており、また、安全対策や維持管理、経費削減の取組も適切に実施されており、安定した施設運営が確保されていることから総合評価をAとした。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き、施設サービスの充実や、利用者の安全確保と満足度向上に努めるとともに、適切な施設の維持管理及び計画的な予防保全を実施するよう指導していく。また、利用者ニーズの的確な把握と反映、地域団体や関係機関との連携強化による利用促進、安全対策や危機管理体制のさらなる充実に加え、効率的な運営による経費縮減にも継続して取り組むよう求めていく。